

若者の地方体験交流 募集概要

いばらきまち
茨城県茨城町 (人口 : 32,346 人)

体験種目 : 農林漁業体験
その他



地元の有志により設立した「ひろうら田舎暮らし体験推進協議会」が中心となり、学生の田舎暮らし体験、農漁業体験等の受け入れを行っています。

都市部と農村部の交流、地域の住民の交流と活性化を目的とし、地域の資源である湖「涸沼(ひぬま)※」の恵みを活かした幅広いプログラムをそろえているのが特徴です。

※関東唯一の汽水湖。魚類、鳥類、植物等の豊かな生態系が見られ、ラムサール条約の登録湿地となっています。

(体験内容等) ※体験メニューには、最少催行人数があります。

- 農業体験 : 野菜や果物の収穫体験、保存食作り体験など。
- 漁業体験 : イカダ乗り体験、伝統漁業体験・見学など。
- 郷土文化体験 : お囃子体験、花巻寿司作り、マイ箸造り、組子細工作りなど。
- 農家民泊 : ご飯作り、家庭での交流など。

(受入期間) 通年 (詳細につきましては、お問合せください。)

(最寄りの交通機関・所要時間)

公共交通機関 : 水戸駅下車 タクシー利用 水戸駅から約 20 分
車 : 北関東自動車道・東水戸道路 水戸南 IC から約 10 分

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 小学生以上の学生等
- 応募締切 通年 (詳細につきましては、お問合せください。)
- 費用負担 現地までの交通費 : 自己負担 (滞在中の移動は、御用意いたします。)
農家民泊体験料 : 1泊2食付 小学生まで 6,000 円、中学生以上 7,000 円
食事代 : 農家民泊体験料に含みます。※各種体験料は別途
- 宿泊施設 一般家庭での民泊 (民泊新法に対応した家庭もございます。)
- 食 事 ①民泊される場合は、受入家庭の家族と一緒に調理していただきます。
②農漁業体験では、採れた野菜や魚を調理して食べることも可能です。
- その他 相部屋 (2人から4人程度) での宿泊が基本となります。

(担当者から一言)

茨城町の地方体験交流は、他地域で実施している農業体験に加え、汽水湖「涸沼」を活かした漁業体験、郷土料理や文化を取り入れた郷土文化体験を用意しております。これまでもゼミや実践教育演習等で、多くの大学生や院生に御利用いただいておりますので、皆様のお越しをお待ちしております。

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名 ひろうら田舎暮らし体験推進協議会 海老澤 律子 (えびさわ りつこ)

TEL : 090-9646-9775 (直通) E-mail : info@hiroura.jp

URL : <http://hiroura.jp/> Facebook : <https://www.facebook.com/hirourainakagurashi/>

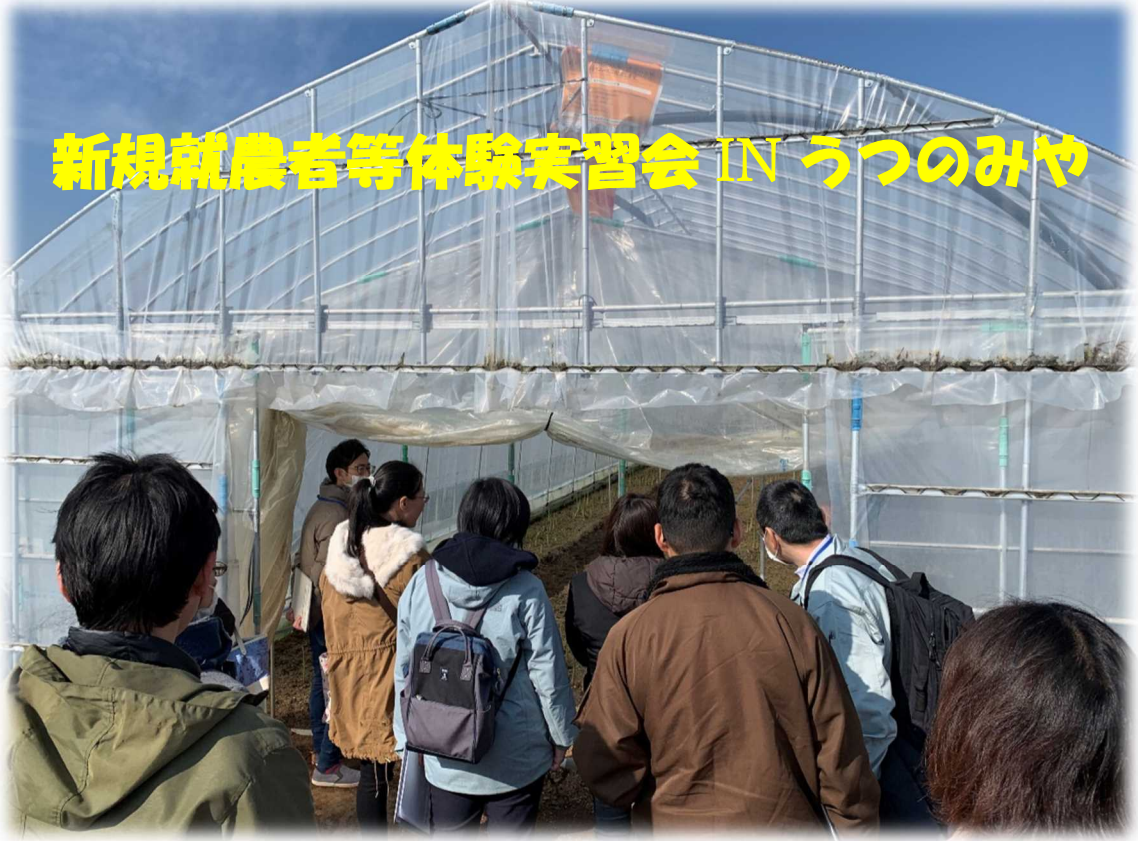


若者の地方体験交流 募集概要

うつのみやし
栃木県宇都宮市 (人口 : 519, 223 人)

体験種目 : 農林漁業体験

新規就農者等体験実習会 IN うつのみや



(体験内容等)

- ・本市の農業施策, 新規就農者支援制度等についての講和
- ・若手農業者のほ場見学と体験談
- ・ベテラン農業者のほ場見学と収穫等体験 (トマト, アスパラガス, いちご, ニラ等)
- ・本市農業者, 関係機関等との交流会

(受入期間) 2月中旬の土・日 (2日間)

(最寄りの交通機関・所要時間)

J R宇都宮駅 関東バス「市内循環線 (きぶな)」で「市役所庁舎前」で「市役所庁舎前」下車 所要約20分

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 18歳以上で宇都宮市で将来就農を希望する意欲のある者
- 応募締切 開催年の2月中旬頃
- 費用負担 現地までの交通費 (自己負担), 宿泊費 (自己負担), 食事代 : 2日間の昼食, 1日目の夜は主催者負担
- 宿泊施設 自身で市内の宿泊施設等を確保
- 食 事 1日目 : 昼食 弁当, 夕食 交流会 (ホテル等の宴会料理), 2日目 : 昼食 弁当
- その他 作業ができる服装をご用意ください。

(担当者から一言)

本市では, 就農の3大障壁である「農地の確保」・「技術の確保」・「資金の確保」について支援するとともに, 就農検討期から営農定着まで, 関係機関が連携を図り切れ目のないフォローアップ体制が確立しています。ぜひ, 「農業王国うつのみや」で就農してみませんか。

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名 宇都宮市役所 経済部 農業企画課 江連 啓右

TEL 028-632-2473 E-mail 028-639-0619

URL : <http://www2.ucatv.ne.jp/~unk.sea/>

※実施主体は市と農業協同組合が共同出資している公益財団法人が実施している



若者の地方体験交流 募集概要

あしかがし
栃木県足利市 (人口 : 144,457 人)

体験種目 : 地域づくり体験
農林漁業体験
暮らし・イベント体験



(体験内容等)

- ・地域イベントの運営サポート (アートイベント「あしかがアートクロス」、門前マルシェなど)
- ・市内企業でのインターンシップ
- ・映像のまち構想に関連した事業サポート
- ・本市の移住定住に関する施策マーケティング調査

(受入期間) 令和2年4月27日～令和3年3月26日

(最寄りの交通機関・所要時間) JR両毛線足利駅ナカ(足利市移住定住相談センター)

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 18歳以上の学生の方。地域活動に興味があり、人とふれあうことが好きな方。
- 応募締切 令和2年4月27日以降、随時申し込み
- 費用負担 参加に係る諸経費に対して5,000円/回をお支払いします。
- 宿泊施設 市内の宿泊施設(ゲストハウス等)をご紹介します。
- 食 事 各自
- その他 動きやすく、作業できる服装をご用意ください。

(担当者から一言)

東京から東武伊勢崎線で約1時間、都内からのアクセスもよい足利市。まちなかには歴史を感じられる古民家も残り、20～30代のリターン者の飲食店、カフェ、ゲストハウスなども増えています。春には駅から歩いて回れる範囲でアートイベント「あしかがアートクロス」を開催し、日本最古の足利学校門前では門前マルシェを定期的に行っています。年間60本を超える映画をはじめとした映像制作のロケ地にもなっています。大正から昭和にかけて織物のまちとして栄え、今も中小企業ですが、個性的なモノづくりのまちです。地方に積極的に関わりたい、自分のスキルを活かしたい、そんな若い皆さんのフレッシュなパワーを足利で試してみませんか？

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名 足利市 総合政策部 企画政策課 柏瀬 誠

TEL : 0284-20-2275 E-mail : kikaku@city.ashikaga

URL : <http://www.kararikoturn.com>



若者の地方体験交流 募集概要

おやまし
栃木県小山市 (人口: 167,614人)

体験種目: その他



世界に認められた小山市の伝統工芸品
「本場結城紬」の素晴らしさを実感してくだ
さい。

(体験内容等)

本場結城紬の地機(じばた)を使用したコースター織り体験
本場結城紬着心地体験

(受入期間)

【コースター織り体験】毎月第3日曜日
【着心地体験】毎週火曜～日曜(7、8月除く)

(最寄りの交通機関・所要時間)

JR宇都宮線・東北新幹線 小山駅下車 徒歩1分

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 【コースター織り体験】小学生3年生以上対象 一度に最大2名まで
- 応募締切 一週間前までにおやま本場結城紬クラフト館に直接申込み Tel: 0285-32-6477
- 費用負担 【コースター織り体験】1000円 【着心地体験】2,500円
- 宿泊施設 自己負担
- 食 事 自己負担

(担当者から一言)

市の伝統産業であり、国の重要無形文化財、ユネスコ無形文化遺産に登録された「本場結城紬」の生産振興のため、「本場結城紬」の情報発信を行っています。

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名 栃木県小山市役所 産業観光部
工業振興課 結城紬振興係 鈴木 美紀
TEL 0285-22-9397 E-mail: d-kougyo@city.oyama.tochigi.jp
URL : <https://www.city.oyama.tochigi.jp/soshiki/42/214930.html>



若者の地方体験交流 募集概要

ましこまち
栃木県益子町 (人口: 22,053 人)

体験種目: 暮らし・イベント体験
農林漁業体験



“ましこの暮らし”

ご案内します

益子町は、陶器の産地として知られています。
なだらかに広がる田畑に小高い山、春には水
鳥が舞い降り、冬は薄氷に覆われる池、いち
ご、ぶどう、りんごなど里を彩る四季の恵み…。
初めて訪れる人にも、どこか懐かしさを感じさせ
る町です。



(体験内容等)

参加者の希望に合わせたオーダーメイド型のツアーです。

例: 町内エリア見学、空き家・空き地バンク登録物件見学、公共施設見学、先輩移住者訪問、農業体験等

(受入期間) 半日～1日程度 通年

(最寄りの交通機関・所要時間)

真岡鐵道 益子駅下車、関東自動車バス 益子中学校前下車

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 益子町外在住で、益子町への移住を検討されている方
- 応募締切 実施希望日の3週間前までに電話、メール、FAX、郵送等にてお申し込みください。
- 費用負担 ツアーは無料(交通費、飲食代、体験費用等は参加者負担)
- 宿泊施設 町内ホテル等
- 食 事 自己負担

(担当者から一言)

参加者の希望に沿った内容で町内をご案内いたします。

“手の届く里山暮らし”体験してみませんか。

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名 益子町 移住サポートセンター (道の駅ましこ内) 山内恭美

TEL 0285-72-5530

E-mail iju@m-mashiko.com

URL : <http://www.town.mashiko.tochigi.jp/page/page002177.html>



秩父の関わり方

リピーター続出
の
人気企画！

2019.6.1 栃本茶摘み



こんな方にオススメ★

- 秩父の人・団体と関わってみたい！
- 移住・二地域居住を考えている！
- 地方との「関わり方」を体験したい！

2019.6.1 栃本茶摘み



暮らす、
秩父



移住相談センター



2019.11.2 ワイナリーボランティア

(体験内容等)

- 秩父市内の暮らし情報、移住者向けお試し居住案内
- 地域の人や団体のお手伝いや、普段会えない面白い人に会いに行く
(例：街中を歩くウォーキングイベント、限界集落の茶摘み体験、ワイナリーボランティア等)

(受入期間) 一年を通じて、適宜募集。(別途HP等で案内予定)

(最寄りの交通機関・所要時間)

西武鉄道 西武秩父駅 (西武鉄道 池袋駅から特急利用で約 80 分)

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 秩父市への移住検討者。秩父市との関わりを持ちたい方。
- 応募締切 イベント毎に設定
- 費用負担 基本無料 (イベントにより、参加費がかかる可能性もあり。往復交通費・昼食費は参加者負担)
- 宿泊施設 なし (日帰りのみ)
- 食 事 イベント毎に設定
- その他 イベント毎に適宜案内

(担当者から一言)

東京に近くて基本的な生活は不便のない秩父市。観光で来たことのある方は多いと思いますが、観光以上の体験はなかなかしたことがないのではないのでしょうか？『秩父の関わり方』に参加して、地方にディープに関わるきっかけづくりをしてみませんか？リピーター続出の当イベントで、新しい人生の楽しみ方を見つけてみてください！

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名 秩父市 地域政策課 移住相談センター 三ツ井
TEL 0494-26-7946 E-mail seisaku@city.chichibu.lg.jp
URL : <https://www.chichibu-iju.com/>



若者の地方体験交流 募集概要

まなづるまち
神奈川県真鶴町 (人口 : 7,195 人)

体験種目 : 暮らし・イベント体験



年間を通じて気候が温暖で、海と山と緑に恵まれた風光明媚な町、真鶴町でお試し暮らしをしてみませんか。

(体験内容等)

お試し暮らし体験施設の名称は「くらしかる真鶴」です。「くらしかる真鶴」は、元々民間の住宅（空家）だったものが町に寄贈されたものであり、現在は公有物件です。真鶴への移住希望者がお試しで住むことができる施設です。期間中にここから通勤してみたり、物件を探したりすることが可能です。また、町が委託した団体による「町歩き」ではいろいろな町民に出会えるため、ただ住むだけではなく、町のコミュニティも垣間見ることができます。

(受入期間) 7日以上 14日以内

(最寄りの交通機関・所要時間)

東海道本線 真鶴駅下車 徒歩7分

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 町内への移住を希望・検討している方
- 応募締切 随時 下記 URL より「真鶴町お試し移住体験申込書」を印刷し、必要事項を記載・押印の上、下記担当者まで郵送で申し込んでください。
- 費用負担 2万円（お試し移住体験参加料）
- 宿泊施設 くらしかる真鶴（真鶴町真鶴453-5）
- 食 事 自己負担
- その他 シャンプー、石けん、歯ブラシ、ゴミ袋、寝間着、トイレトーパーなどの消耗品はご自分でご用意いただきます

(担当者から一言)

真鶴町は、神奈川県西部に位置し、面積は7平方キロメートル、都心まで約100キロメートルの場所にあります。相模湾に向かって突出した真鶴半島の形状が、鶴が羽を広げた姿に見えることが「真鶴」の由来です。豊かな自然と美しい眺め、歴史と伝統文化に関心のある方をお待ちしています。

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名 神奈川県真鶴町 政策課 石井俊光（いしいとしみつ）
TEL 0465-68-1131 E-mail sei_senryakusuishin@town.manazuru.kanagawa.jp
URL : <http://www.town.manazuru.kanagawa.jp/tokushu/1224.html>

